

## 関東政治社会学会 (ASPOS) 主催「再生可能エネルギー・フォーラム」

各地で、「地方創生」のために観光や特産品の開発、販路拡大など、さまざまな戦略、施策が日々検討されている中、まさに「地方創生の切り札」といえるものが登場した。農業を行いながら農地の上空で太陽光発電を行う「ソーラーシェアリング」である。長島彬氏が2003年に開発に成功したものであり、ソーラーパネルの下でも十分に作物が育つことを実証した。これによって本来の農業収入に加えて安定的な売電収入も見込めるため、農家の現金収入が十倍にも増えるという画期的なシステムである。海外との農産物の価格競争を勝ち抜く力もつき、若者が都会から農村に帰ってくるきっかけにもなる。そうなれば、農家の後継者問題が解決され、休耕地が復活し、コミュニティ復活やエネルギー・食糧の自給などに貢献するであろう。本フォーラムは、「ソーラーシェアリング」を交えた再生可能エネルギー活用の新動向を追う。



### テーマ：「太陽光パネルと地方創生」

日時：2017年6月3日（土）13:00～18:40

会場：専修大学神田キャンパス1号館（15階建て）8階8A会議室

共催：公認NPO太陽光発電所ネットワーク、エー・アソシエイツ研究所

- 13:00～13:05 趣旨説明・司会：原田博夫（専修大学教授／政治社会学会ASPOS会長）
- 13:05～14:05 基調講演：吉原 毅（城南信用金庫相談役・同総合研究所所長）  
「ソーラーシェアリングを通じた地方再生・農林漁業の自立化に向けて」
- 14:05～14:15 休憩
- 14:15～14:55 報告1：都築 建（公認NPO太陽光発電所ネットワーク・共同代表）  
「PVプロシューマーの形成と地域デザインの可能性」
- 14:55～15:35 報告2：高澤 真（ソーラーシェアリング上総鶴舞・代表／ちば里山・バイオマス協議会・代表理事）  
「千葉県市原市でのソーラーシェアリングの取り組み、営農と発電の状況」
- 15:35～15:45 休憩
- 15:45～16:00 討論者1：三石博行（公認NPO太陽光発電所ネットワーク・副代表理事／政治社会学会ASPOS理事長）
- 16:00～16:15 討論者2：荒木義修（武蔵野大学客員教授、未来農林事業開発研究会・副会長／科学技術フォーラム会員）
- 16:15～17:00 質疑応答・全体討論

参加費：1,000円（当日、会場で徴収します）

研究会終了後、近くで交流会（17:10～18:40 会費3,000円程度）を予定しています。

奮って、ご参加ください。研究会・懇親会への参加希望者は、会場設営の都合上、

5月31日（水）までに、中村(2009aspos@gmail.com)宛てお申し出ください。